



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月1日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社
コード番号 7981 URL <https://www.takara-standard.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 大
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部管掌兼財務部管掌 (氏名) 梅田 馨
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-6002

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	57,318	0.1	3,097	15.4	3,282	14.2	2,072	7.7
2024年3月期第1四半期	57,237	5.3	2,683	△16.8	2,874	△17.8	1,925	△15.9

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,123百万円 (14.3%) 2024年3月期第1四半期 2,732百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	30.33	—
2024年3月期第1四半期	27.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	271,061	188,676	69.6	2,760.97
2024年3月期	268,675	187,398	69.7	2,742.27

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 188,676百万円 2024年3月期 187,398百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	116,600	1.7	6,400	20.6	6,500	18.2	4,200	△5.2	61.46
通期	239,100	1.9	14,500	16.7	14,700	14.9	9,700	2.1	141.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	68,347,094 株	2024年3月期	68,347,094 株
2025年3月期1Q	9,904 株	2024年3月期	9,904 株
2025年3月期1Q	68,337,190 株	2024年3月期1Q	70,358,401 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇に伴う実質賃金の低迷により個人消費が伸び悩んでいるものの、堅調な設備投資やインバウンド需要の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、地政学リスクの長期化や円安の進行など、先行きは不透明な状況であります。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は分譲マンションが増加傾向となったものの新築戸建ては減少が続ぎ、リフォーム需要も低調に推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、2024年度を初年度とする3ヵ年計画「中期経営計画2026」を策定いたしました。「変革への再挑戦」をテーマに「収益構造改革」、「財務戦略」、「サステナビリティ戦略」の3つを成長戦略の柱とし、各種施策の効果創出による収益力強化と持続的成長を実現する基盤構築への取組みを推進しております。

また、当社の強みであるショールームにつきましては、都市部での営業強化並びに地域密着営業の強化を目的に、全国各地でリニューアルを実施するなど、引き続き充実を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は過去最高となり、利益面では在庫削減などの合理化・コストダウンを実施したことや価格改定により、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高573億1千8百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益30億9千7百万円（同15.4%増）、経常利益32億8千2百万円（同14.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億7千2百万円（同7.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は572億6千2百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益は30億4千9百万円（同16.3%増）となりました。

製品部門別の売上高は、キッチン342億3千6百万円（前年同四半期比0.4%増）、浴室142億7千7百万円（同0.3%減）、洗面化粧台64億6千万円（同3.1%増）となりました。

リフォーム市場におきましては、前期の価格改定に伴う駆け込み需要があったことから、売上は前年同四半期を下回りましたが、新築市場におきましては、主に集合住宅向けが好調に推移したことにより増収となりました。

②その他の事業（不動産賃貸事業及び倉庫事業）

売上高は9千万円（前年同四半期比16.4%減）、営業利益は4千7百万円（同22.7%減）となりました。主な減少要因は、2024年3月に当社の連結子会社であるタカラ物流サービス株式会社の損害保険代理店事業を譲渡したことによるものであります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ23億8千6百万円増加し、2,710億6千1百万円となりました。主な増加は、現金及び預金21億7千7百万円、売掛金15億8千9百万円、投資有価証券11億7千5百万円であり、主な減少は、電子記録債権20億6千1百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ11億8百万円増加し、823億8千4百万円となりました。主な増加は、買掛金7億8千2百万円、電子記録債務2億4千9百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ12億7千7百万円増加し、1,886億7千6百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益20億7千2百万円、その他有価証券評価差額金9億5千9百万円であり、主な減少は、剰余金の配当による18億4千5百万円であります。

この結果、自己資本比率は69.6%（前連結会計年度末は69.7%）となりました。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ21億7千7百万円増加し、618億4千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、61億9千8百万円（前年同四半期は73億8千8百万円の減少）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上と、棚卸資産及び売上債権の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の支出は、24億3百万円（前年同四半期は20億6千7百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の支出は、16億1千7百万円（前年同四半期は15億9千4百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払いによる支出であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月9日に発表いたしました連結業績予想については現時点で変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,665	61,843
受取手形	3,758	3,376
売掛金	33,324	34,914
電子記録債権	34,009	31,947
商品及び製品	11,640	11,056
仕掛品	4,888	4,593
原材料及び貯蔵品	7,316	7,055
その他	374	1,417
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	154,972	156,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,665	23,398
土地	41,933	41,808
その他(純額)	24,110	25,012
有形固定資産合計	89,709	90,218
無形固定資産	2,254	2,265
投資その他の資産		
投資有価証券	13,928	15,103
その他	7,818	7,285
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	21,739	22,381
固定資産合計	113,703	114,865
資産合計	268,675	271,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,116	16,899
電子記録債務	18,382	18,631
短期借入金	7,650	7,650
未払法人税等	3,263	1,052
その他	15,838	17,996
流動負債合計	61,251	62,230
固定負債		
退職給付に係る負債	16,488	16,622
その他	3,536	3,531
固定負債合計	20,025	20,154
負債合計	81,276	82,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,734	30,734
利益剰余金	122,517	122,733
自己株式	△17	△17
株主資本合計	179,592	179,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,464	7,423
土地再評価差額金	1,997	2,008
退職給付に係る調整累計額	△654	△564
その他の包括利益累計額合計	7,806	8,868
純資産合計	187,398	188,676
負債純資産合計	268,675	271,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	57,237	57,318
売上原価	38,152	37,545
売上総利益	19,084	19,772
販売費及び一般管理費	16,401	16,675
営業利益	2,683	3,097
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	194	189
その他	16	34
営業外収益合計	212	227
営業外費用		
支払利息	11	13
製品安全対策費用	7	8
控除対象外消費税等	—	11
その他	2	9
営業外費用合計	21	42
経常利益	2,874	3,282
特別利益		
固定資産売却益	4	70
特別利益合計	4	70
特別損失		
固定資産除却損	29	102
固定資産売却損	50	9
投資有価証券評価損	—	214
減損損失	2	6
特別損失合計	81	332
税金等調整前四半期純利益	2,797	3,019
法人税等	872	947
四半期純利益	1,925	2,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,925	2,072

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,925	2,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	959
退職給付に係る調整額	123	90
その他の包括利益合計	807	1,050
四半期包括利益	2,732	3,123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,732	3,123
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,797	3,019
減価償却費	1,713	1,843
減損損失	2	6
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	271	264
受取利息及び受取配当金	△196	△192
支払利息	11	13
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	214
有形固定資産売却損益 (△は益)	44	△61
有形固定資産除却損	29	102
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,170	905
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,399	1,141
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,637	573
その他	1,122	611
小計	△6,410	8,441
利息及び配当金の受取額	196	191
利息の支払額	△11	△15
法人税等の支払額	△1,162	△2,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,388	6,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
有形固定資産の取得による支出	△2,131	△2,454
有形固定資産の売却による収入	120	324
無形固定資産の取得による支出	△59	△230
貸付金の回収による収入	24	4
その他	△16	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,067	△2,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,594	△1,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,594	△1,617
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,049	2,177
現金及び現金同等物の期首残高	80,376	59,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	69,326	61,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に依りて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	50,492	—	50,492	—	—
工事	6,675	—	6,675	—	—
その他の売上高	—	11	11	—	—
顧客との契約から 生じる収益	57,167	11	57,179	—	—
その他の収益	—	58	58	—	—
外部顧客への売上高	57,167	69	57,237	—	57,237
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	38	38	△38	—
計	57,167	108	57,276	△38	57,237
セグメント利益	2,622	61	2,683	—	2,683

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

事業セグメントごとに資産を配分していないため、報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において2百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注)2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	50,448	—	50,448	—	—
工事	6,813	—	6,813	—	—
顧客との契約から 生じる収益	57,262	—	57,262	—	—
その他の収益	—	56	56	—	—
外部顧客への売上高	57,262	56	57,318	—	57,318
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	33	33	△33	—
計	57,262	90	57,352	△33	57,318
セグメント利益	3,049	47	3,097	—	3,097

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

事業セグメントごとに資産を配分していないため、報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において6百万円であります。